

# 絆 求 め て

8月25日発行

文責 私学振興専門員 久保田学



## 現職教員研修を実施しました！

令和3年8月3日(火)、玉川大学教育学部教授 大豆生田 啓友先生を講師にお迎えし、「現職教員研修」をWEBで実施しました。テーマは、「幼児教育・保育の質を高める」で、先生が体験された様々な事例をご紹介いただき、その事例を通して、各園でのこれまでの実践の見直しや今後取り組んでいきたいことについてお話しいただきました。

先生からお話をお聴きした後に、受講者がチャットで書き込んだ質問などに、回答していただく時間をとりました。チャットには、「サークルタイムをぜひ取り入れていきたい。」「学びの環境づくりを工夫し、子ども達が遊を発想できる空間づくりを進めたい。」「ドキュメンテーションに取り組みたい。」などの感想が多くみられました。具体的な取り組みについて園内研修を通して更に深め合っただけだったと思います。また「こんな取組しています… こんな始めました…」など、紹介いただけるとありがたいです。ぜひ幼稚園協会までご連絡ください。(連絡先； ☎026-235-3353 担当；久保田)

### <研修から学んだこと>

○今回の研修では、一斉管理の保育ではなく、子ども一人一人、その子らしさ、良さを丁寧に肯定的にリスペクトする事の大切さを学びました。気になる子をラベル付けして見るのではなく、その子の姿(気持ち)について理解し、クラスで共有する事が大切だということもわかりました。その手段として、一斉の自由遊びの時間に設ける「サークルタイム」がとても有効である、これにより遊びのブームが巻き起こり、子ども同士のコミュニケーションによって他人の話や意見を聞ける子になるのだという事も学びました。コロナ禍で新しい生活様式時代の保育になり、ICT化の推進により業務(行事)の見直しが行なわれています。この事は、保護者とのコミュニケーションがより密になっていること、保育者の業務負担の軽減にもつながっている事もわかりました。子どもが遊ぶでわくわく…、保育者も子どものわくわくを感じてわくわく…、幼稚園が楽しい、保育が楽しいという気持ちになれば良いと思いました。

### <今後の保育実践に生かしたいこと>

○子どもたちの遊びを子どもたちと一緒に共有しあえるサークルタイムはぜひやってみたいと思いました。子どもたちとの話し合いの中で行事などの活動を決めていけると、本当に子どもたちのやりたいことができ、自信につなげてあげられるのではないかと感じました。また、それぞれの子供の遊びのブームを大切に活かしていけるような取組を考えていきたいと思いました。

ある方の対談で大豆生田先生が、次のような事をおっしゃっていました。「保育の仕事は、子どもの感動のドラマとの出会い。遊びは科学、問題解決学習の場である。子どもは適応能力が非常にある。要らないものは捨て、必要なものをインプットしていく。嫌なのにやらされている子が一番伸びない。親の期待が逆に子どもの力をそぐようになってしまう。幼児期は、その子の意欲を育てることが大切で、それが将来のやる気につながる…」

テレビのコマーシャルに、「やる気スイッチ」という言葉が出てきます。しかし、このやる気スイッチとは、誰からみたやる気スイッチでしょうか。親の価値観に立ったやる気スイッチであると、子どものやる気スイッチを奪ってしまうことがあります。子どもは私たちが考えも及ばない世界で、様々なことを思考しているものです。やはり、子どもの行為をどう読み取れるかが、保育者としてのより質の高い支援につながるのでは、ないかと思えます。(専門員 久保田)

<チャットでの質問への返答>

Q:サークルタイムを行っていきたくと思ったのですが、どのように進めていくとよいのでしょうか？

A:

Q:子どもと先生の1対1の「おはなしの時間」をもうけることについてどう思われますか？

A:

Q:保育の可視化で写真の利用が有効と感じます。写真を撮るうえでのポイントがあったら教えてください。

A:

Q:ブームに乗らない子は、どう対応していけばよろしいですか？

A:

Q:保護者に伝える、ということに年々難しさを感じます。どうやって親を巻き込んで、一緒に育てていけるのか、考えていきたいです。

A:

Q:うちの園では縦割り保育をしています。子どもたちを一人一人肯定的に見ていこうと思い、保育をしています。ですがどうしても怒ってしまう子がいます。そういったときはどうしたらいいですか？

A:

Q:先生のお話をもとに、異年齢クラスでも工夫できることを考えていきたいと思いますが、何かアドバイスをお願いします。

A:

Q:保育室が狭く子どもの手の届くところに環境設定が難しい場合どうしたらいいですか。

A:

Q:保育（遊びの中で）ICTの活用が心を育てると共に知的な興味を育てる物作り大切さがわかりましたが、小学校にパソコンが1台渡されたという事で幼稚園でも・・・という考えになってしまわないかと乳幼児心身の発達を考えると心配になりますが。

A:

Q:貴重なお話ありがとうございました。一斉活動の中で遊びを振り返っていましたが、サークルタイムを別に設けた方がいいということでしょうか？

A:

Q:今日はありがとうございました。未満児の場合どうサークルタイムを作り遊びを共有していけばよいのかアドバイスをいただきたいです。

A:

Q:今日は貴重な講演をありがとうございました。展覧会で学年ごとテーマを決めて製作をしていますが、それぞれの子どものブームを取り入れながら作りたいものをつくるためには、テーマなどは決めない方がいいのでしょうか？

A: